

みんなで語る会報告書

- 開催日時 : 平成30年11月28日(水)(19時00分～20時30分)
- 開催場所 : ふれあいプラザなのはな館 2階 視聴覚室
- 参加者数 : 【市民】40名
【指宿市役所】15名
市長, 副市長, 教育長, 総務部長, 総務部参与, 市民生活部長,
健康福祉部長, 産業振興部長, 農政部長, 建設部長, 教育部長,
水道事業部長, 市長公室長, 秘書係長, 秘書係主事
【総計】55名

○ 会次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 意見交換
- 4 地域代表あいさつ(自治公民館連絡協議会丹波校区理事 吉元 克己氏)
- 5 閉会

○ 意見交換の内容

【市民】

「平成の時代で最も印象に残った人」を紹介する番組があり、小泉総理が1位であった。市長には小泉総理のように退任後も市のために尽力していただきたい。真面目な市長なので評価されるべきである。

【市民】

2年後のかごしま国体のバドミントンについて、体育館だと8面入るようだが、狭く感じた。

<副市長>

観覧されたのは九州大会であると思うが、確かにコートが8面張った。国体では専用シートを使い、4面ほどを張って両サイドには観客席を設けると聞いている。

※下線部分の回答内容は誤りで、正しくは「10面張る予定」となっている。

【市民】

国体を契機にバドミントンが指宿市でどう普及されるのか。

<副市長>

市のバドミントン協会によるキッズの育成や指宿商業高校のバドミンソンの強化を進めている。市の職員にもバドミンソンの国体選手候補がいる。そうした取り組みを通じて、国体後の競技人口を増やしてレベルアップに努めたい。

【市民】

ある大会では、2階席から競技がほとんど見えなかったようである。なのはな館の体育館も活用できるようにお金をかけて準備してほしい。

<市長>

いただいた声を大切にしながら、来場者に喜んでもらえるような取り組みをする。なのはな館の体育館については練習会場として使用する。

【市民】

サッカー場の事業が現在どのようになっているのか。

<市長>

過去の市民対話集会や議会の中で、当時の市長や議員から未来を担う子ども達のためにサッカー場は必要であるといった内容の発言がある。前からそのような思いがあるならば造るべきということで議員の皆様の賛同を得て今進めている。

<総務部参与>

去年の6月議会で予算の承認をいただき、今年の5月に実施設計が完成している。用地を確保して来年の7月まで造成工事を行う。その後、グラウンド等の工事をして平成32年度中に完成予定である。

<市長>

先日、議員の方々が大宮アルディージャのサッカー場を視察に行った。地域のコミュニティーセンターのように活用されていて驚いていた。来年から芝管理の専門家を育成するために職員を勉強に行かせようと考えている。

【市民】

地熱利用の事業が現在どのようになっているのか。

<市長>

山川地域を元気にするために審議会を重ねて作成した「都市計画マスタープラン」に基づいて「地熱の恵み」活用プロジェクトを立てたが、様々な意見があり、補助事業の申請が不採択となった。不採択の理由は「地域との共存を図りなさい」とのことであったが、断念はしていない。今後、広報紙等で現状や課題について周知する。市民の意見を聞く場も設けたいと思う。

【市民】

中国の友好都市 膠南市との関係はどうなっているか。

<市長>

本調印の10日くらい前に尖閣諸島の問題が持ち上がり難しくなったが、仮調印は生きているので諦めていない。台湾や韓国との関係もあるためバランスが難しい。

【市民】

イノシシが魚見岳の登山道を荒らしており観光客や子ども達にとって危険であるので、被害が出る前に対策をしてほしい。

【市民】

イノシシ問題は柳田や玉利地区でもある。

【市民】

魚見岳はイノシシの狩猟ができる場所であったが、今はできないので人家の傍までイノシシが来ている。行政は地区から要望がなくても地域の様子を確認してほしい。

<農政部長>

有害鳥獣による被害があった場合は、猟友会に依頼して駆除している。危険箇所を教えていただければ、現地を確認して対策を検討する。また、可能な限り地域の状況を確認しに回りたい。

<市長>

多くの意見をいただいたので早速現地を確認して連絡する。

【市民】

指宿港の海岸整備を行っているが、合わせて指宿駅前から海岸までの指宿中央通商店街も整備してほしい。

<市長>

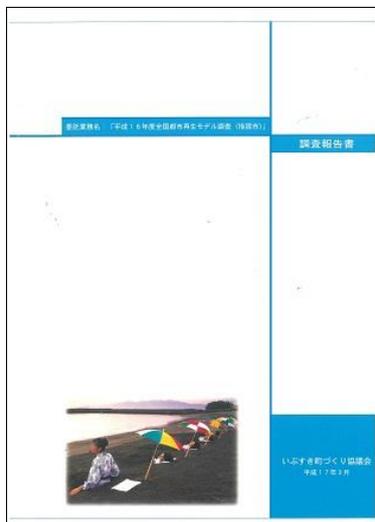
平成17年にいぶすき町づくり協議会が出した報告書の中に、指宿中央通商店街をこのようにしたいというイメージ図がある。これを元に地域の商店街の方々やワークショップを通して、早く方向性を決めたいと思う。

【市民】

その報告書は全世帯に配布されているのか。

<市長>

全世帯には配布していないと思う。当時の詳細は分からないが、良いものは継続してやっていくのが行政だと思っている。市のホームページでイメージ図を見られるようにしておく。



(参考) 左：いぶすき町づくり協議会「平成16年度全国都市再生モデル調査(指宿市)」報告書
右：報告書内の中央通りイメージ図

【市民】

宮ヶ浜から尾掛の海岸漂着物を今までは燃やして処理していたが、煙が出るということで出来なくなった。プラスチック等のゴミは海岸整備員が回収してくれるが大きな流木等はそのままだになっている。景観上良くないため何とかできないか。

<市民生活部長>

大きな漂流物は県が担当している。海岸に打ち上げられた漂流物は市で雇用している3名の清掃員が年間103トンくらい処理しているので、環境政策課に連絡いただければ対応する。

【市民】

外国人労働者にゴミの出し方等を伝えるのにどのように対処すれば良いか迷っている。市では、外国人にしっかりとゴミ出しの説明をしているのか。

<副市長>

技能職と単純労働職の2通りあるが、指宿市に入ってきているのは後者である。単純労働職の外国人労働者は受入事業者に来る前に日常会話等の研修を受け、市内の受入事業者でもゴミ出し等を含めた研修を受けるシステムになっている。困ったことがある時は、まず受入事業者に相談していただきたい。

<市長>

受入事業者や市民団体、市で連携して外国人労働者と地域の方々の交流の場を提供しないとけない。来年度そのような取り組みをしたいと思う。

【市民】

相談事を館長以外の個人が直接市役所に相談に行っても良いのか。また、相談に行ってもその後の連絡がないことがある。

<総務部長>

館長を通じて来ていただければ連携が取りやすいという面があるが、個人でも相談に来てもらって問題ない。また、相談に対しての連絡をするように職員に周知する。

【市民】

スポーツ選手や芸能人だけでなく、実質的に世の中に貢献している科学者を評価すべき。

<市長>

科学者の方々の励みになるようなことをしたいと思う。講演会をしていただいたり、横断幕を作ったりすることで子ども達の励みにもなる。

【市民】

市の工事ではないが、魚見港の鹿児島寄りのところが崩れているのと尾掛の前の消波堤ブロックが落ちているが、県に要望しているか。

<建設部長>

すでに県には連絡しており復旧されると聞いている。

【市民】

・市道か県道か分からないが、道路の白線が消えていて見えないところが多い。

<市長>

子どもや高齢者の安全面を考慮したい。具体的な問題個所があれば教えていただきたい。